私が感じる税理士業の今、そして未来

平成 22 年 6 月 26 日　　渡邉年弘

●税理士を目指したきっかけ

　製薬会社の営業マン時代に医療専門の税理士さんが講演にいらした。税務という専門領域を持ち、さらに経営コンサルティングもするというお話を聴き、「これしかない」と。

●現在の業務

「月次監査」～帳簿チェック（科目修正、取引内容確認、消費税区分など）
　　　　　　試算表をもとに報告、税務相談
「決算申告」～直前節税対策、利益予想、決算書着地点のすり合わせ
　　　　　　申告書作成、役員報酬シミュレート
「給与計算」～源泉税納付管理、賞与額検討
「点検決裁」～部下・同僚の月次試算表を点検、申告書の点検・決裁
「季節業務」～源泉税納期特例、年末調整、個人確定申告
「特殊案件」～スポット案件のスキーム構築、税金対策を企画提案
　　　　　　　ex.自社株譲渡対策（経営権譲渡）、従業員持株会設立

●税理士の仕事の魅力

　中小企業の社長さんは“頼りになる参謀”を心から必要としています。税理士はそれに一番近い位置にいる存在。

　私の提案は企業のキャッシュにダイレクトに反映される。だから社長さんも真剣、それが醍醐味。だから成果がでればとても感謝される。

●私の感じる税理士の将来性

　激しい競争は確かにある。だからこそお客さんは“違い”を求めるし、分かってくださる。本当の“知識集約”の世界に突入。申告納税のその先に・・・「顔」のある税理士に活路がある。（「顔」ある税理士＝「私は○○に強い税理士です」）

●税理士になってよかったと感じていること

勉強して、考えたアドバイスがお客さんにとても喜ばれる。そして信用される。
人生の先輩である多くの社長さんからいろいろな教えを乞うことができる。
実は「先生」って呼んでもらえるのは誇りであり、ちょっぴりうれしい。

●これから税理士を目指す方へ

税理士受験は努力を続けられる方が勝ち残る世界。努力は裏切りません。
　（その努力は合格後もあなたを支えてくれます！）
税理士は日本経済のある種の最前線に立ち会う。その充実感をぜひ、体感して欲しい。
税理士は勉強すればするほど、経験を積めば積むほどいい仕事が長くできる世界。探求する喜びをぜひ、楽しんで欲しい。
さいごに・・・「気付いて、科学して、乗り越える！」